

EXCEL 設計書取り込みツール

操作説明書 共通編

(第1版)



目 次

1 はじめに.....	3
2 操作説明	3
2.1 EXCEL 設計書取り込みツールの操作手順	4
2.2 テクノス V2Ex での操作手順	8
2.3 テクノス V2Ex の上書機能の活用	10

1 はじめに

本書は、発注者から提供された工事設計書(電子)データ、またはそれらを元に準備された EXCEL 形式データを テクノス V2Ex に読み込めるデータに変換するツール『EXCEL 設計書取り込みツール』の操作説明書です。

ツールの使用には Microsoft 社 EXCEL が必要です。最新版 EXCEL の使用を推奨します。詳細な動作仕様については次のサイトを参照してください。

http://techno-skydepot.info/download_eTools_A4A5.html

また、ツールの動作にはテクノス V2Ex の USB プロテクタが必要です。テクノス V2Ex が起動できる環境(コンピュータ)にてご利用ください。

なお、本ツールのインストールについては、次の説明書を参照してください。

インストール	EXCEL 設計書取り込みツール インストール説明書
--------	-------------------------------

また、発注者から提供される電子データのファイル形式が PDF および XDW の場合、次の説明書を参考にして EXCEL ファイル形式に変換してください。

PDF 形式	PDF EXCEL(瞬簡 PDF 変換) 簡易操作説明書
XDW 形式	XDW PDF EXCEL (DocuWorks Viewer Light、瞬簡 PDF 変換) 簡易操作説明書

ここでは、準備された EXCEL 形式のファイルを使用して テクノス V2Ex に読み込める工事データを作成する方法について説明します。

2 操作説明

EXCEL 設計書取り込みツール は発注機関により個別に対応したツールとなっていますが、基本的な操作方法は同一です。

ここでは 三重県版のツールを利用して手順をご説明します。

名称等は使用するツールの名称等に置き換えてお読み進めください。

【準備】

- ・テクノス V2Ex が正常に動作するよう PC 環境で操作してください。
- ・発注者から提供される工事設計書(電子)データ EXCEL ファイルを準備してください。
(PDF 形式、XDW 形式の場合は、先の説明書を参考に EXCEL 形式に変換します。)

2.1 EXCEL 設計書取り込みツールの操作手順

(1) ツールの起動

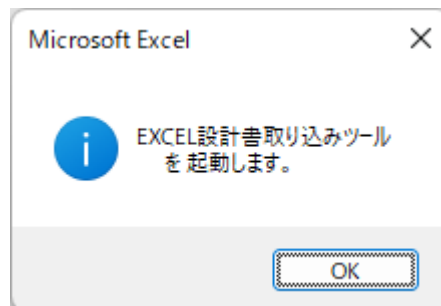
デスクトップのショートカットアイコンから本ツールを起動します。

デスクトップ等に作成されるアイコンの名称は「設計書取込・・・」の文字で始まります。



(2) ツールの起動

ツールが起動されると「EXCEL 設計書取り込みツールを起動します。」と表示されます。
[OK] ボタンをクリックします。



(3) 略称、条件等の設定

MENU シート(画面)にて略称(必須)他を入力した後、[取り込み実行(ファイル指定など)] ボタンをクリックします。略称は テクノス V2Ex の工事一覧画面の工事名に表示されます。

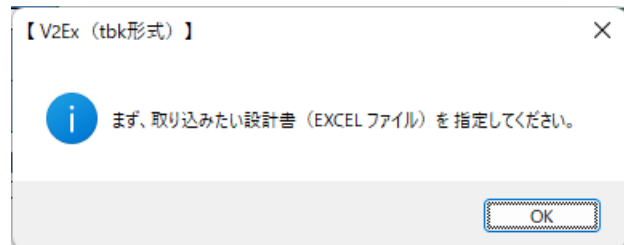
A	B	C	D	E	F	G
■EXCEL 設計書取り込みツール 2021 三重県版■ (プロテクタ方式)						
対象: 三重県 工事費積算参考資料の設計内訳書ほか (EXCELファイル または PDFファイルを瞬間PDF変換の最新版で変換したEXCELファイル)						
注意) ただし、すべてに対応することを保証するものではありません。 (C) 2022-09-05 Techno, Inc.						
登録情報			説明書		モード設定 通常	
次の工事情報は、下部で抽出するか、手入力してください。			取込レベル選択 全て		変換対象の書式 工事費積算参考資料(設計内訳書)	
必須入力枠			↓			
<input type="checkbox"/> 1次単価表では、摘要欄に「1次単価表」と自記			単価表の探索、確定方法			
<input type="checkbox"/> 工事費積算参考資料とは別ファイルで「登録単価」を追加指定			<input checked="" type="radio"/> データコード探索順による			
<input type="checkbox"/> ↑ 設計書に反映された単価のみを工事参考単価に登録			<input type="radio"/> データコードと規格/条件の一致による			
<input type="checkbox"/> 集計リスト(その他)を登録単価として取り込む			取り込み実行(ファイル指定など)			
【工事情報】						
略称		テスト工事				
請負者名						
発注者名						

略称のみを入力すれば処理を実行できます。

ただし、MENU 画面での設定項目はツール毎に異なるため、初期設定以外の設定を使用する場合は各ツールの「変換オプション説明書」を参照してください。

(4) EXCEL ファイルの選択1

取り込みが実行されると右の確認画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



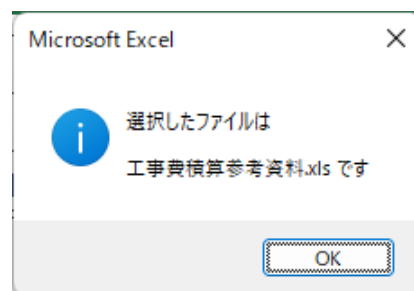
(5) EXCEL ファイルの選択2

ファイルを開く 画面にて 対象の EXCEL ファイルを保存したフォルダから対象のファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。



(6) EXCEL ファイルの選択3

表示された確認画面にて、[OK] ボタンをクリックします。



尚、ツールによっては複数のファイルを指定する場合があります。詳細については各ツールの「変換オプション説明書」を参照してください。

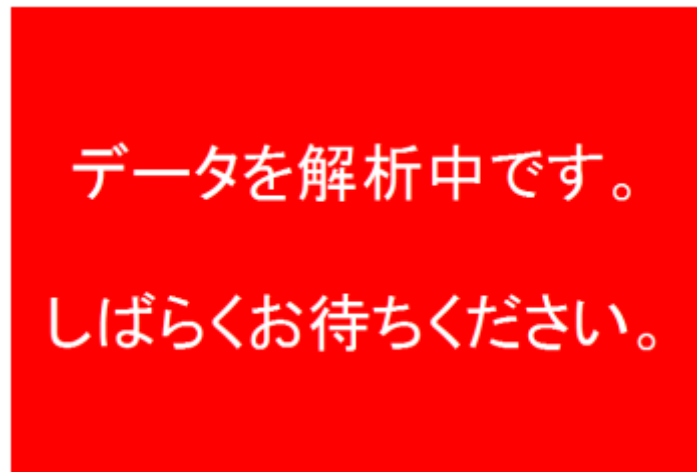
(7) 取り込み実行処理 (対象データのコピー)

取り込んだ EXCEL ファイルから必要な情報がコピーされます。

処理中は画面上のウィンドウが頻繁に切り替わることがあります。(しばらくお待ち下さい。)

(8) 取り込み実行処理(分析中)

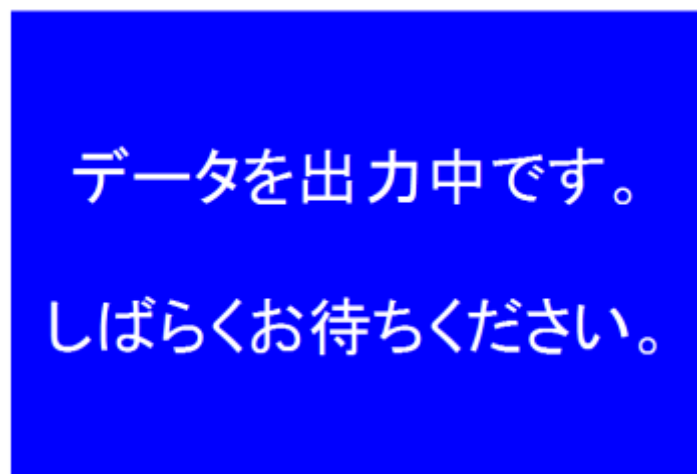
コピーが終了すると、EXCEL 形式の工事設計書に記述されている階層情報等、積算を構成する要素、種類等が分析されます。



ウィンドウが切り替わったり、画面がちらつく、または「応答なし」と表示されることがあります。

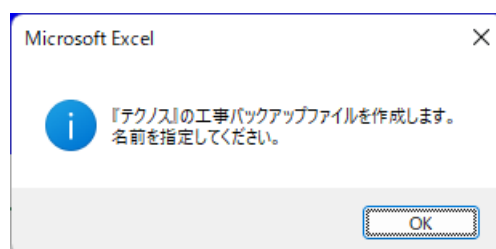
(9) 取り込み実行処理(出力中)

分析が終了すると、ファイルへ出力する情報が生成されます。



(10) 取り込み実行処理(出力の確認)

ファイル出力の準備が完了すると次の画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



(11) ファイル出力 (ファイルの指定)

「『テクノス』バックアップファイル作成」画面にて保存するフォルダを選択し、ファイル名を指定してから [保存] ボタンをクリックします。

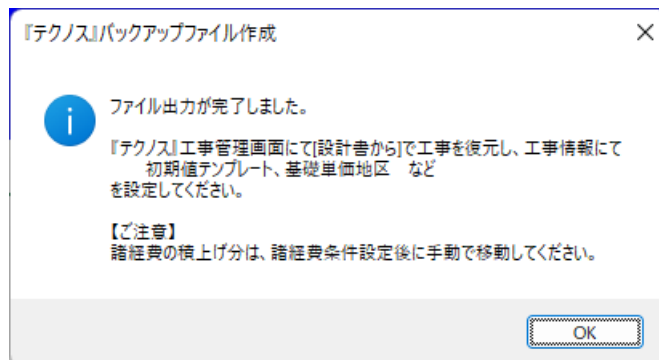
(先に指定した **略称** がファイル名の初期値として自動的に設定されています。

このファイル名は自由に変更できます。)



(12) ファイル出力完了

ファイル出力が完了すると次の確認画面が表示されます。内容を確認した後、[OK] ボタンをクリックします。



(13) ツールの終了

ウィンドウ右上の [X] をクリックします。

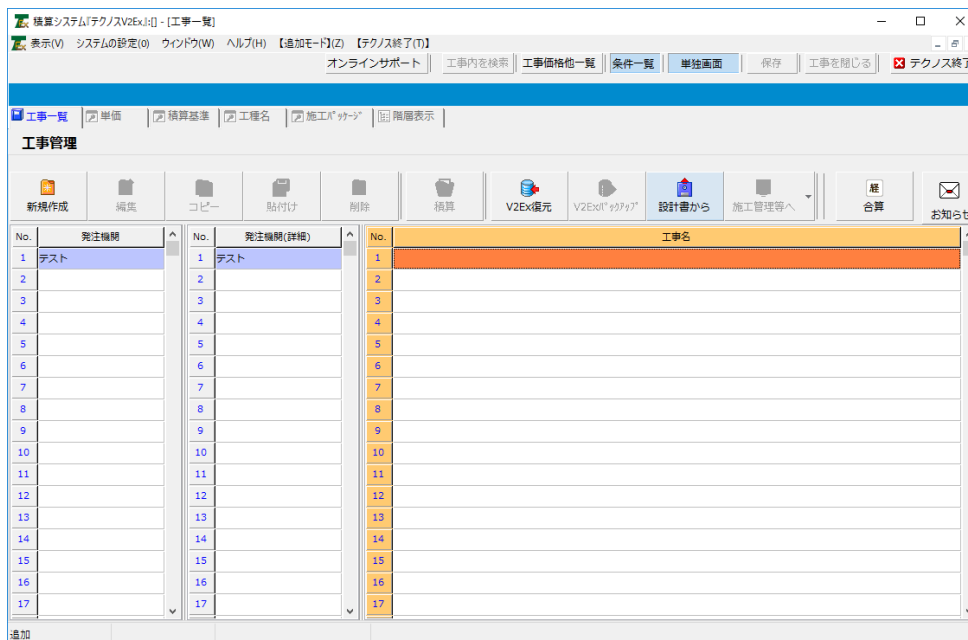
以上で テクノス V2Ex へ取り込むためのファイルが準備できました。続いては作成されたファイルをテクノス V2Ex へ読み込みます。

2.2 テクノス V2Ex での操作手順

ここでは EXCEL 設計書取り込みツールにて変換されたファイルを テクノス V2Ex へ読み込む手順を説明します。

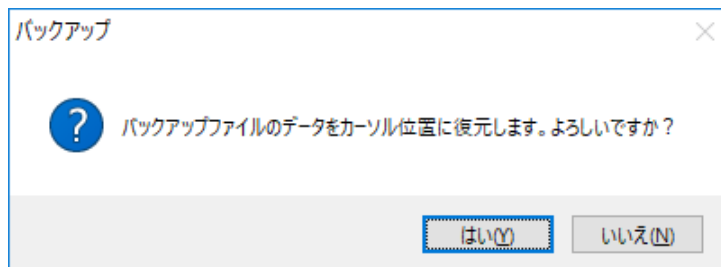
(1) 「設計書から」の実行

『テクノス』の工事管理画面にて工事名の空セルを選択し「設計書から」ボタンをクリックします。



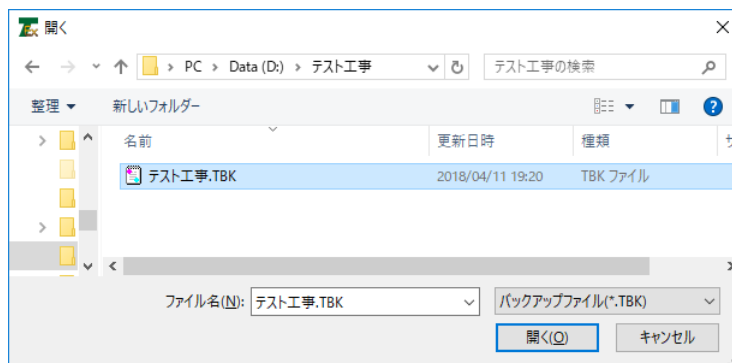
(2) 復元の確認

表示されたバックアップファイルの復元確認画面にて [はい] ボタンをクリックします。



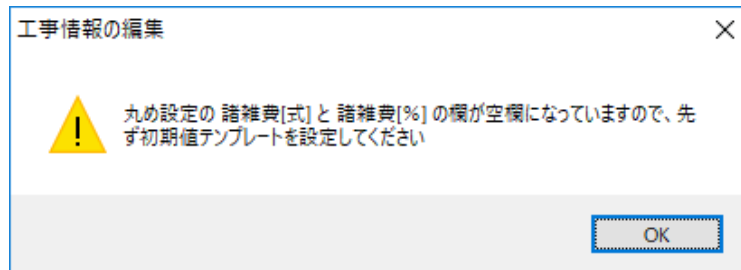
(3) 対象ファイルの指定

ファイルを開く画面では先ほど EXCEL 設計書取り込みツールにて保存したフォルダから対象ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。



(4) 初期値テンプレート設定の確認

処理が完了すると、次のメッセージが表示されます。初期値テンプレートの設定に関する注意を促す画面「工事情報の編集」にて [OK] ボタンをクリックします。



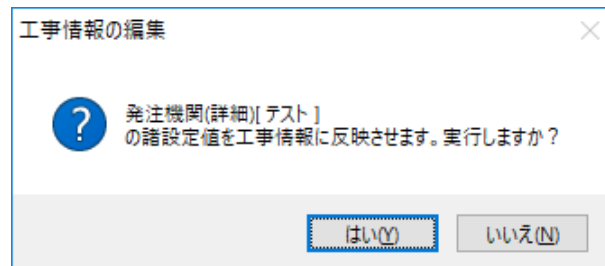
「設計書から」にて復元された工事データは、新規に作成された工事と同様に初期値テンプレート等の適用が必須です。

以降の操作は通常の積算操作と同様です。

積算の骨組はすでに構成され、単価表の名称、規格など表題情報は確定されています。

これら名称等を活用し文字入力操作を削減する方法について次項で説明します。

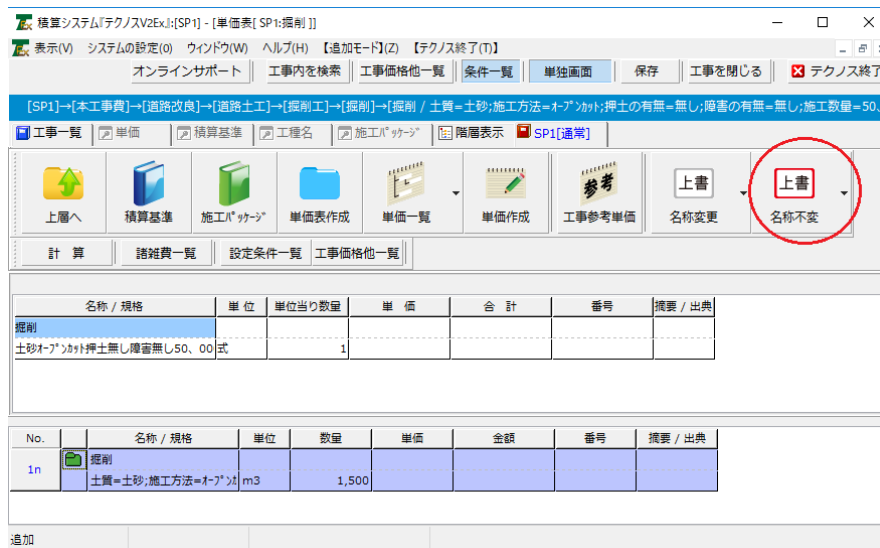
なお、工事一覧の中央の欄[発注機関(詳細)]において、初期値テンプレート等が設定されている場合、次のメニューが表示され設定を簡略化することができます。



2.3 テクノス V2Ex の上書機能の活用

EXCEL 設計書取り込みツールにて変換されたデータでは工事設計書に記されている名称、規格などの情報が写し取られています。これらを活用することにより元の工事設計書と同一の用語が使用できるとともに文字入力の手間が省けます。

新規に単価表を積み上げる場合は空白行を選択しますが、既存の行を活用するためには対象の行を選択した上で、[上書(名称不変)] をクリックします。



この後の操作は新規に積上げる場合と同様で、結果として選択行の中身(下の階層のデータ)が更新されます。ただし、表面に見えている選択行の名称、規格等の情報は不変のため元の状態が維持されます。

(以下余白)

EXCEL 設計書取り込みツール

操作説明書 共通編

著作者 - 株式会社テクノ
発行者 - 株式会社テクノ

発行日 - 2018年04月12日 第1版
2022年09月07日 第1版改